

5.検定に合格するための準備



① 設置しようとするラインで流す生産品目

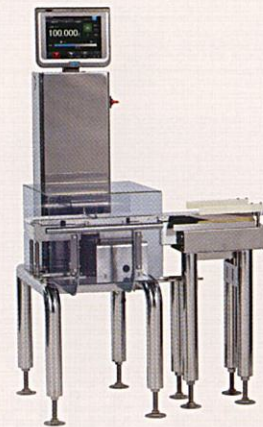
品名、重量、製品サイズを予め確定させておきます。

② 生産する品目のうち、 一番軽い製品と一番重い製品の情報

検定受検にあたり、使用する計量範囲を決めておく必要があります。

③ 生産する品目のうち、 最も速い(たくさん流れてくる)処理速度の情報

検定受検にあたり、使用する最大速度を決めておく必要があります。



6.検定で試験する項目

- 器差
- 表記
- 最大許容標準偏差
- 動補正の範囲
- ゼロ点設定精度
- 風袋引き装置の精度
- 偏置荷重の影響
- 平衡安定性(静的計量はかりのみ)
- 表示装置および印字装置の一致

自動捕捉式はかりの検定方法は、JIS B7607
附属書 JAに規定されています。
器差検定、表記及び個々に定める性能の試験を
行います。
個々に定める試験項目は左記の通りです。
新規の自動捕捉式はかりに関しては
JA.3に規定されています。



大和グループ検定機関から検定情報の
詳細をご覧ください。



7.検定の申請手順

申請準備

検定依頼書入手
(上記QRコードから入手できます)

見積依頼

記入済み検定依頼書にて大和グループ検定機関または弊社営業、
弊社機器販売店へ見積りをご依頼ください。

検定申請

大和グループ検定機関等から入手した検定申請書へ必要事項をご記
入の上、大和グループ検定機関または弊社営業、弊社機器販売店へご
提出ください。受付後、ご連絡いたします。

検定準備

検定器物ならびに、試験荷重(サンプル)をご準備ください。
*新規購入以外で検定を受検される場合は検定実施の前に
器物のメンテナンスをお勧めします(詳しくは弊社まで)

検定実施

当日の立会、検定器物の必要な操作をお願いします。
*検定合格の場合は、検定証印を器物に貼付します。
(既使用はかりの初回検定は確認済証も一緒に貼付します)

検定後処理

大和グループ検定機関もしくはご依頼された販売店より、検定料
など所定の費用をご請求いたしますので、お支払いください。

サイズ、重さ



計量範囲

計量速度

製品の仕様が 未確定の場合は？

②の範囲からおおよそ±10%程度の幅を使用計量
範囲とし、速度も実際の供給状態を踏まえ、2個載
りエラーが発生しない程度に速度を上げたもの
を最大速度として設定することをお勧めいたしま
す。